

昭和 35 年度土木学会役員

副 会 長



澁 山 養
日本国有鉄道常務理事

会 長



沼 田 政 矩
早稲田大学教授 理工学部

副 会 長



富 横 凱 一
三菱地所 KK 顧問

理 事



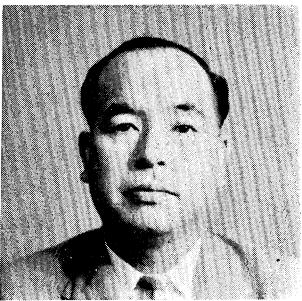
阿 部 一 郎
西松建設 KK
常務取締役



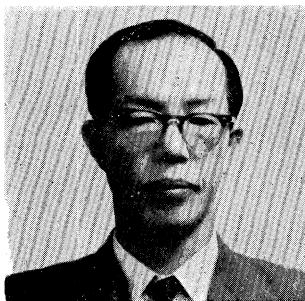
小 倉 宏 三
東京都交通局
高速電車建設部長



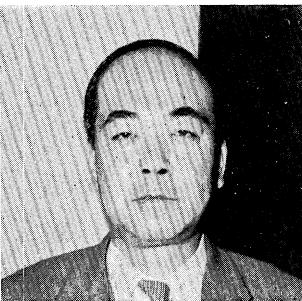
尾之内 由紀夫
建設省道路局
企画課長



岡 本 東 一 郎
白石基礎工事 KK
常務取締役



川 勝 四 郎
通商産業省公益事業局
水 力 課



川 村 満 雄
建設省関東地方
建設局長



小 西 一 郎
京都大学教授 工学部



佐 藤 肇
運輸省港湾局
建設課長



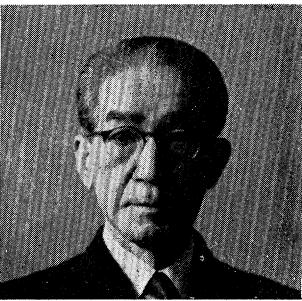
田 中 行 男
日本国有鉄道
建設局計画課長



林 泰 造
中央大学教授 工学部



八 十 島 義 之 助
東京大学教授 工学部



末 森 猛 雄
土木学会専務理事

土木学会名誉



池
田
嘉
六
君

明治 15 年 5 月 5 日生
 明治 39. 7 東京帝国大学工科大学
 土木工学科卒業
 " " 鉄道作業局建設部
 " " 8 鉄道作業局富山作業所
 " " 9 帝国鉄道府富山建設事務所
 " 43. 3 鉄道院鹿児島建設事務所
 大正 8. 9 鉄道院建設局工事課
 " 11. 3 鉄道省教習所講師
 " 12. 6 欧米各国へ出張
 " 13. 12 鉄道省東京建設事務所

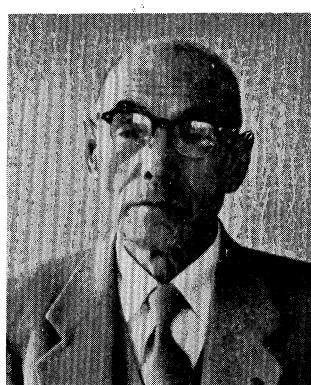
長
 昭和 2. 3 鉄道省建設局計画課長
 " 4. 7 鉄道省東京第二改良事務所長
 " 6. 12 鉄道省建設局長
 " 9. 8 退官
 以 来 鉄道建設興業会社顧問
 土木学会にあっては昭和 6 年 7 年常議員（理事）として学会運営のため尽力せられたのであります。



菊
池
英
彦
君

明治 17 年 11 月 23 日生
 明治 43. 7 東京帝国大学工科大学
 土木工学科卒業
 " " 通信省臨時発電水力調査局技師広島支局高松出張所長
 大正 2. 12 東京市技師・水道拡張事務所工務課勤務
 " 5. 4 岐阜県土木技師ならびに岐阜県技師
 " 7. 6 通信局技師、仙台通信局水力課長
 " 12. 8 通信技師通信省電気局水力課（水力調査係注）
 昭和 12. 5 球磨川電気 KK 取締役
 臨時建設事務所土木部長

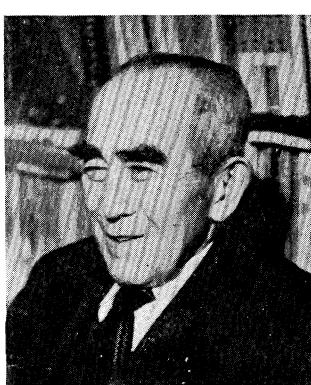
昭和 15. 5 九州電気 KK, 理事、
 臨時建設部長
 " 17. 6 日本発送電 KK 建設局
 土木建設事務嘱託
 " " 9 岡山県當旭川河水統制事業建設顧問
 " 19. 4 青山学院工業専門学校
 教授（土木科長）
 " 24. 4 青山学院大学教授（工学部土木科長）
 " 25. 4 関東学院大学教授（工学部土木科長、工学部長）
 " 現 在 土木科教授
 土木学会にあっては昭和 11 年 12 年常議員（理事）として学会運営のため尽力せられたのであります。



斎
藤
静
脩
君

明治 17 年 9 月 17 日生
 明治 44. 7 東京帝国大学工科大学
 土木工学科卒業
 " " 北海道庁勤務
 大正 10. 6 釧路川、常呂川治水事務所長
 " 15. 12 十勝川治水事務所長
 昭和 3. 4 帯広事務所長
 " 12. 4 北海道庁土木部河川課長
 " 16. 4 北海道帝国大学工学部講師を嘱託
 " 18. 6 東京都武藏高等工業学

校講師を嘱託
 昭和 20. 4 KK 管原組専務取締役
 " 24. 5 同 副社長
 " " 10 北海道大学工学部講師
 " 27. 9 北海道建設業信用保証 KK 取締役社長
 " 32. 2 北海道機械開発 KK 取締役
 " 35. 1 全国漁港協会理事
 土木学会にあっては昭和 17 年度北海道支部長として支部運営に尽力せられたのであります。



田
井
九
一
君

明治 12 年 5 月 28 日生
 明治 38. 3 京都帝國大学土木工学科卒業
 " " 7 関西鉄道公社工務課
 " 42. 1 鉄道院工務課
 " " 7 鉄道院西部鉄道管理局工務課
 大正 4. 6 鉄道院西部鉄道管理局福知山保線工事事務所長
 " 6. 12 鉄道院西部鉄道管理局湊町
 " 11. 1 鉄道院神戸鉄道局工務

課
 昭和 13. 12 鉄道院東京鉄道管理局
 " 14. 8 鉄道院札幌鉄道局工務課長
 " 15. 10 鉄道院仙台鉄道局
 昭和 2. 8 欧米各国へ出張
 " 3. 6 鉄道省監督局技術課長
 " 6. 7 退官
 土木学会にあっては昭和 6 年 7 年常議員（理事）として学会運営のため尽力せられたのであります。

員 推 拳 者 報 告

明治 17 年 7 月 10 日生 昭和 32. 12 退職
 明治 45. 7 京都帝国大学土木工学
 科卒業 土木学会にあっては昭和 12 年 13 年
 常議員（理事）として学会運営のた
 め尽力せられたのであります。

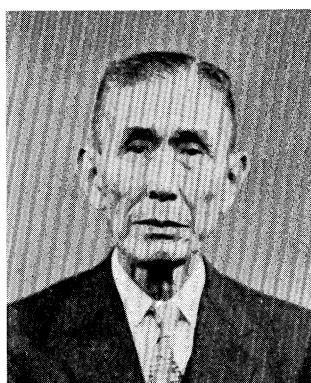
“ “ 台湾総督府技師
 大正 12. 4 東京市水道局下水課技
 師
 昭和 8. 11 東京市水道局下水課長
 “ 12. 10 東京市水道局長
 “ 14. 6 東京市退職
 “ 17. 2 上海工部局水道支配人
 “ 21. 7 仙台市助役

高 橋 甚 也 君



明治 17 年 11 月 6 日生 昭和 12. 名古屋鉄道取締役 技
 明治 41. 7 東京帝国大学工科大学 術部長
 土木工学科卒業 “ 14. 同取締役 技術長兼施
 “ “ 鉄道庁就職 設局長
 大正 8. 鳥栖保線事務所長 “ 17. 同技術顧問
 “ 11. 名古屋保線事務所長 株式会社 名古屋車両
 “ 14. 上野保線事務所長 工業社社長
 “ 15. 鉄道省ロンドン事務所 “ 32. 豊橋鉄道嘱託 現在に
 駐在 いたる
 昭和 5. 工務局保線課長 土木学会にあっては昭和 13 年中部支
 “ 7. 監督局技術課長 部設置とともに評議員となり昭和 17
 “ 10. 6 退職 年支部長として支部運営に当られ、
 “ “ 愛知電鉄嘱託技師 昭和 18 年以降顧問として現在に至っ
 “ 10. 8 名古屋鉄道技師長 ております。

永 田 民 也 君



明治 17 年 7 月 20 日生 都市計画大阪地方委員会委員
 明治 41. 7 東京帝国大学工科大学 を歴任
 土木工学科卒業 昭和 7. 5 地方技師京都府土木部
 “ “ 8 和歌山県土木工師 長
 “ 45. 1 和歌山県内務部土木課 “ 11. 4 神戸市理事水道局長
 長 大正 6. 11 福井県技師土木課長 “ 27. 1 大阪建物 KK 顧問に至
 “ 9. 11 内務技師 る
 “ 10. 8 兵庫県技師土木課長 その他現在都市計画兵庫、大阪、京
 “ 14. 1 大阪府土木課長 都、和歌山の地方審議会委員等。
 昭和 2. 4 京都府土木部長 土木学会にあっては昭和 3 年関西支
 “ 3 年 1 月から 6 年 7 月に至る 部評議員として支部運営に尽力せら
 都市計画京都地方委員会委員 れたのであります。

京都府大礼事務局の各役員，

村 山 喜 一 郎 君



明治 15 年 1 月 5 日生 昭和 4. 7 鉄道院工務局計画課長
 明治 41. 7 東京帝国大学工科大学 “ 6. 7 内閣鉄道監察官
 土木工学科卒業 “ 9. 8 鉄道省官房研究所長
 “ “ 鉄道庁工務部技術課 “ 11. 6 鉄道省工務局長
 “ 43. 12 鉄道院工務課 “ 12. 17 退官
 “ 45. 3 鉄道院業務調査会議委 以來 盤城コンクリート工業
 員 顧問
 大正 2. 8 鉄道院中央教習所講師 土木学会にあっては昭和 10 年 11 年
 “ 5. 9 米国へ留学 常議員（理事）として学会運営のた
 “ 8. 5 鉄道院工務局改良課 め尽力せられたのであります。

昭和 2. 12 鉄道省工務局計画課

山 田 隆 二 君

